

## ◇ 生石ヶ峰

2018年12月13日

岡本（単独）

むか〜し車でいったような記憶のある場所だが、歩いて登るのは今回初めてだ。11月の例会に参加出来ず残念と思っていたところ、結局例会は流れしまった。しかし、一度は歩いてみたかったので、シーズンは終わっているが決行。朝7時過ぎに大和高田を出発、橿原南ICから京奈和道に入り、紀ノ川ICで下りる。そこから国道424号を南に行くと意外に近い。登山口のある小川八幡神社まで1時間45分だ。近くに駐車場らしきものがないので、町役場の支所の駐車場に駐め出発。

支所の近くの公衆WCを過ぎると直ぐに下山予定ルートへの入口がある。そこを過ぎ少し車道を歩くと登山道の標識があり、暫く行くと大観寺に着く。静かな落ち着いた良い寺である。標識に従い登って行くと分岐があり、よく見ると不動辻の表示がある。左に道を取り、車道と交差するところが龍王水だが、今は車道の排水溝のようなところで、水は飲めない。そこから30分ほど少し急な坂を登ると車道に出る。直ぐ行くと駐車場があり、その上が生石高原だ。



(大観寺)

高原には犬を連れた人が一人いるだけで、枯れススキの静寂な世界だ。弱い季節風が吹き、時には晴れ間も見えるが、どんよりとした曇り空だ。少し霞むが海南市の海岸や有田湾が見える。枯れススキの緩い登りを生石が峰まで歩く。静かで、少し北風が冷た



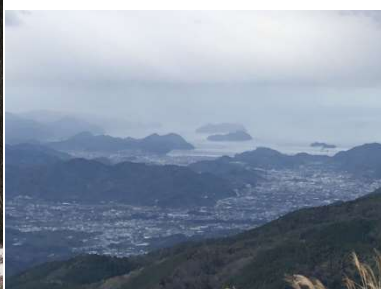
(生石高原笠石)



(生石ヶ峰から高原)



(生石神社)



(生石ヶ峰から有田湾)

いが、展望は素晴らしく、何ともすがすがしい気分で歩く。人の多いススキの時期より、むしろゆっくりと静かに景色の楽しめるこの時期の方が良いのかもしれない。三角点のある山頂（標識はない）でゆっくり昼食を取り、生石神社を通り下山する。生石神社も中々幽玄な雰囲気、今日のような人気がなく、どんよりした冬の寒空が似合う。後は、標識に従い、所々車道を横断しながら粛々と歩いて行くと最初の分岐点に出る。

行程：9:00 登山口→9:38 大観寺→9:55 不動辻→10:10 龍王水→10:40 生石高原→11:00 生石ヶ峰  
11:30 生石ヶ峰発→11:40 生石神社→12:00 旧札立峠→12:30 一本松→13:00 登山口